

ご存じですか？

特定外来生物

「オオキンケイギク」



オオキンケイギク

北米原産の多年草で、5月～7月にコスモスに似た黄色い花を付けます。かつて鑑賞用や道路・堤防の緑化用に輸入されたものが、国内に定着しました。

繁殖力が非常に強く、定着した場所でほかの在来の植物を衰退させるなど、日本の生態系に重大な影響をおよぼすおそれがあることから、平成18年に外来生物法により「**特定外来生物**」に指定されました。



オオキンケイギクの特徴

- 花は直径5 cm～7 cmほど
- 花びらの色は黄橙色で、先端には不規則に4～5つのぎざぎざがある。
- 花の中央部も、花びらと同じ色（黄橙色）をしている。



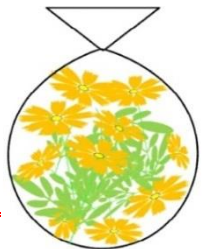
- 葉は細長いへら状で、幅は1 cm程度。
- よく見ると葉の両面に荒い毛が生えている。
- 葉の周囲はなめらかで、ぎざぎざしていない。

※コスモスとよく似ていますが、花の咲く時期（コスモスは秋頃）、葉の形（コスモスは葉に切れ込みが多かったり、針のように細い形）が異なります。

オオキンケイギクが庭などに生えていたら・・・

根から抜き取り、袋などに密封して（種の飛散による拡大を防ぐため）、燃えるごみとして処分してください。

★花が見つかりやすく、種子をつける前のこの時期の駆除が効果的です！



注意！

オオキンケイギクを栽培することは、法律で禁止されています。持ち帰ってご自宅の庭や花壇などに植えたりすることはおやめください。

熊本市環境政策課 自然保護班
(096) 328-2427

このチラシは、九州地方環境事務所ホームページ 外来生物対策 (http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m_2_3.html) をもとに熊本市環境政策課が作成しました。